

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館整備事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	03	01	04	01	51
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり			主管課長	村越 友直				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	福祉会館を地域福祉活動の拠点として、満足して使用してもらう
事業内容	全15館の福祉会館の内、経年劣化の著しい福祉会館を年次計画に基づいて改修する。施設満足度調査における意見を集計し、要望の多い事項に向けて施設を改修する。			
事業開始から現在までの状況変化	会館建設以来、次第に経年劣化してきた施設を計画的に一部改修、或いは全面改修してきた。会館の経年劣化は年々進行しており、単なる改修工事では済まない時期が到来する。市内全体の中で福祉会館をどのように集約するかが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	突発的な整備件数	11	11	10	件	↓↓↓
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	ESCO事業により空調設備が改修され、利用者の満足度が向上し、消費電力が削減された。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・全15館中、13館が築20年を経過している。 ・直営5館の空調設備がESCO事業により改修され、消費電力が削減された。 ・利用者から要望が多い、大広間の床フローリング改修とトイレ改修については、計画的にできるだけ早い時期に行う。		
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,373,300	10,504,720	5,653,845			
事業費(b)(円)		3,412,500	7,474,320	4,218,245			
うち一般財源		3,412,500	7,474,320	4,218,245			
職員給与費(c)(円)		2,960,800	3,030,400	1,435,600			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	①赤城福祉会館の給水方式を受水槽式から直結給水に切り替えた。 ②流山福祉会館のガスをプロパンガスから都市ガスに切り替えた。 ③ESCO事業で空調機改修（直営5館）	③取り組みの課題	①名都借福祉会館大広間等バリアフリー改修 ②流山福祉会館大広間空調機改修 ③向小金及び赤城福祉会館トイレ改修
②今年度(H24)に実施した取り組み	①平成24年6月完成 ②平成25年3月完成 ③平成24年8月完成	④今後の改善計画	①～③今年度実施 計画的に大広間の床を畳敷きからフローリングへ改修する。